

クリーンシティ推進ポスター・標語募集事業

[596]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0101	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	資源循環型社会の啓発	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内小学校4年生	ごみの減量、リサイクル事業の啓発事業として、市内小学校4年生を対象に啓発ポスター、標語を募集する。 市長賞・市議会議長賞・市教育委員会教育長賞及び入賞作品10点、計26点を選び、優秀作品を市役所ロビー等に展示し啓発する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	6月 作品募集の通知(各小学校宛) 10月 作品の募集締め切り・審査 12月~1月 表彰、作品展示
	ごみの減量、リサイクル等について関心を持つ児童数を増やし、また作品を展示することにより市民に啓発する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	ポスター応募者数	人	706	816	750	847
	標語応募者数	人	711	493	750	646
成果指標	ポスターを提出した割合	%	85.7	98.7	90	98.5
	標語を提出した割合	%	86.3	59.6	90	75.1
事業費 計			96	94	106	98
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	96	94	106

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 昨年度実績と比較すると、ポスター応募者は31人、標語応募者は153人増加している。 (原因) 小学校の協力により、小学校4年生のほぼ全員がポスターと標語を提出しているためと思われる。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生ごみ処理補助事業

[597]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0201	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	減量化の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内全世帯	可燃ごみを減量するためには、生ごみ処理機を用いて生ごみを減らす方法が有効なため、「尾張旭市生ごみ処理機等購入補助金交付要綱」に基づき、生ごみ堆肥化容器、生ごみ発酵用密閉容器、生ごみ処理機を購入した市民に、購入金額の2分の1(限度額あり)を補助する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	生ごみ減量化施策の一環として、市内のボランティア団体(2団体)に、生ごみ堆肥化等の技術指導を中心とした生ごみ堆肥化等の支援業務を委託する。 【主な業務内容】 (1)市内保育園における給食の調理くずの堆肥化と、園児との菜園を通じた共同農作業及び食育支援(保育課との協働事業) (2)市民向け生ごみ減量講習会の開催
	多くの市民が生ごみの量を減らすため、生ごみ処理機を利用している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助件数	件	37	37	80	23
	PRの種類数	種類	4	4	4	5
成果指標	生ごみを出さないように、また減らすように工夫をしている市民の割合(27年度より指標変更)	%	30.0	30.0	40.0	29.5
事業費 計			553	579	800	559
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	553	579	800

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 昨年実績と比較すると、「生ごみを出さない、減らすよう工夫している市民割合」にあまり変化はないが、補助件数は14件減少している。 (原因) 生ごみの減量に取り組む市民はいるものの、生ごみ処理機等を利用する市民は増えていないため、補助件数が減少していると考えられる。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

資源ごみ等処理事業

[598]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0301	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	リサイクルの推進	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 (市民が排出する資源ごみ)	資源ごみとは『空きびん・空きかん・ペットボトル・牛乳パック・乾電池・プラスチック製容器包装・古紙・古着類・スプレー缶類』の9種である。 空きかん・空きびん・古紙・古着類は月2回、プラスチック製容器包装は週1回、スプレー缶類は月1回、分別回収をしている。 空きびん・空きかんは月2回のルート回収の際、シルバー人材センターに委託し、地域の資源ごみ集積所に資源回収箱の設置を行っている。 その他のペットボトル・紙パック・乾電池は市役所・公民館・集会所における拠点回収(市が回収)。また、リサイクル広場では、前述の9分別のほか、食用廃油、白色トレイ、白色発泡スチロール、エコキャップの回収のほか、危険物であるスプレー缶、カセットボンベの回収も常設にて行っている。24年度からは、小型家電をリサイクル広場で回収、29年3月からは主要公共施設(市役所、スカイワードあさひ、渋川福祉センター、東部市民センター、新池交流館ふらっと)に回収ボックスを設置している。 また、収集した資源ごみは、種類に応じて中間処理(分別、圧縮、梱包等)され、それぞれリサイクルされている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	資源ごみの分別数	種	8	9	9	9	
成果指標	資源回収量(市収集分)	t	2,903	2,750	3,500	2,681	
	資源化率	%	29.6	29.0	30.8	28.3	
事業費 計			45,630	56,400	67,695	62,845	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他	千円	24,545	18,777	22,800	22,231
		オ 一般		21,085	37,623	44,895	40,614

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比べ、資源回収量(市収集分)は69t、資源化率は0.7ポイント減少している。 (原因) 特に古紙の回収量が減っている。近年は、新聞や書籍離れにより紙類の流通量が減少していることが影響していると考えられる。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	ごみ収集作業員及び保有車両の適正化に関する計画を立案します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	ごみ収集作業員及び保有車両の適正化に関する計画を策定した。		

資源ごみ回収団体活動奨励事業

[601]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0303	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	リサイクルの推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 回収活動登録団体	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 事前に市へ登録した市民が会員で営利を目的としない団体(子ども会等)に、廃品回収活動を助長するために、回収量に応じて奨励金を支払う事業で、現在回収物1kgにつき3円を支払っている。ただし自己回収の場合は回収物1kgにつき4円。支払いは年に前期分と後期分と2回に分けて支払っている。また、環境保全活動、地域貢献活動の実施を、奨励金の交付要件としている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	団体回収することにより資源ごみの回収量(率)を高める。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	奨励金支給額	千円	9,513	8,957	10,500	8,588
成果指標	回収量	kg	3,141,154	2,967,459	3,822,000	2,848,039
	資源ごみ回収量に占める団体回収率	%	52.0	51.9	50	51.5
事業費 計			9,513	8,957	10,000	8,588
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		9,513	8,957	10,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比べ、回収量は119t、資源ごみ回収量に占める団体回収率は0.4ポイント減少している。 (原因) 資源ごみのうち、特に古紙の回収量が減っている。新聞や書籍離れ等に伴う紙類の流通量の減少が影響していると考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	古紙・古着の自主回収を行う自治会等を増やすことで、市民の分別意識の向上を図ります。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
広報による募集や既に実施している団体に継続案内を行っているが、新規申込はなく、団体廃止や統合によって実施団体数が減少している。			

塵芥収集事業

[602]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0501	実施計画	対象
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・市民 ・臨時職員数	・可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみの収集・運搬を労務職員14名と臨時職員7名及び業務委託で実施。 ・尾張旭市の一般廃棄物処理計画に基づき、計画的に収集・運搬を業務委託を実施(可燃ごみは市の約7割、不燃ごみ、訪問収集、スプレー缶、古紙・古着及びプラスチック製容器包装は市内全域)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
ごみが適正に処理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	不適ごみ対応件数 (連絡により職員で回収した不適ごみの件数)	件	470	378	500	286
	粗大ごみ予約受付個数(26年度より指標変更) 予約受付業者報告より集計	個	7,833	7,739	8,000	8,120
成果指標	市で収集しているごみの量	ト	17,857	17,338	17,670	17,186
事業費 計			134,367	131,195	143,513	136,700
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		13,751	6,079	6,312	6,455
	オ 一般		120,616	125,116	137,201	130,245

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	ごみの分別の徹底や資源化への意識向上などにより、ごみが適正に排出され、きちんと収集されている傾向がうかがえる。市民だけではなく、事業者へのごみ出しルールの周知徹底を一層進めていく必要がある。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	燃えるごみの排出量に応じた費用負担については、ごみ処理基本計画に基づき、引き続き検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討のため、循環型社会推進会議が調査研究結果をまとめ、平成30年3月に提言書を作成した。			

尾張東部衛生組合負担金

[604]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0503	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 尾張東部衛生組合 市民数 	<p>尾張東部衛生組合は、瀬戸市、尾張旭市、長久手市で組織されており、廃棄物処理施設の建設及び維持管理並びにこれらに附随する事務、北丘スポーツ公園の維持管理に関する事務を共同処理している。その一般経費は、補助金、寄付金その他の収入をもって支弁しているが、なお不足がある場合は、組合市が負担している。負担の方法は、総額の100分の30は前年度10月1日における組合市の住民基本台帳に登録された人口により按分する。総額の100分の70は前々年度の組合市の廃棄物の総搬入量により按分している。</p> <p>建設経費の負担は、総額の100分の25を均等割とし、100分の75を最近の国勢調査の結果による人口により按分している。</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>尾張東部衛生組合の廃棄物処理施設が適切に維持管理されている。</p>	<p>会議出席・連絡調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合議会 年4回 副市長会議・課長会議 年3回

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	負担金額	千円	199,093	249,477	252,184	249,858
成果指標	尾張東部衛生組合へのごみの搬入量	ト	20,349	19,814	19,223	19,680
事業費 計			199,093	249,477	252,105	249,858
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	199,093	249,477	252,105

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 尾張東部衛生組合へのごみの搬入量は、H29当初計画の19223tと比較すると457t多いが、昨年度実績と比べて134t減量している。</p> <p>(原因) 昨年度に比べ、可燃ごみは減少したが、不燃・粗大ごみは増加したことが原因と考えられる。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

清掃車両維持管理事業

[606]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0504	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 清掃車両	<ul style="list-style-type: none"> 現在13台の車両(ディーゼル車11台・天然ガス車1台・ガソリン車1台・)で収集作業を行っており、車検や修繕を行い、これらの維持管理を行う。 車検時期の管理方法 車両内の運転席に車検更新時期を明記したラベルを貼付 事務所及び労務職員詰所の壁面に「清掃車両車検整備日程表」を掲出 労務職員の運転免許証の確認も毎月行う。 清掃車両の買換購入については、走行距離や収集作業員の安全性を考慮し、10年経過、10万Kmを基準とし、老朽化の程度を勘案し判断する。 また、策定したごみ収集運搬体制の将来計画に基づき、直営と民間委託の状況を踏まえ計画的に車両の更新及び減車を行う。また、購入する際には環境負荷が少なく燃費効率に優れた環境対応型車両を購入する。 <p>平成28年度：廃車、買換えなし 平成29年度：廃車、買換えなし 平成30年度：ダンプ(16号車) 廃車(売却) 予定</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集運搬体制に併せた適切な車両台数を保有し車両の維持管理経費が削減されている。 保有する清掃車両が常に正常かつ安全に走行できるよう適切に管理されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	清掃車両の維持管理台数	台	13	13	13	13
	清掃車両の修理件数(車検整備含む) 平成26年度より指標変更	件	36	57	30	39
成果指標	削減した車両経費の合計	千円	253	253	253	0
	不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
事業費 計			6,304	7,408	6,569	6,813
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	6,304	7,408	6,569

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は収集車両の減車がなく必要経費の減少にはつながらなかった。 重大な不具合の発生はなかった。 <p>(原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集車両の減車がなかった。 日頃からの保有車両の点検、整備による適正管理と使用者の安全への意識が保持できている。
--------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境事業センター維持管理事業

[607]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0505	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	環境事業センター	<p><環境事業センター> 事務所(事務室・食堂・会議室等)、再利用品庫(リサイクル広場)、駐車場(公用車・来場者)、労務職員詰所、倉庫等</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>環境事業センター及び施設内で運営しているリサイクル広場を、良好な状態で機能させるために、センターの備品・施設の維持管理に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの閉庁日及び夜間の警備を業務委託している。 センターの定期清掃・軽清掃・ガラス清掃を業務委託している。 センター事務所棟の床を清掃するため、モップを借上げている。 備品や施設に不備がある時は、修繕している。
	環境事業センターの運営に支障の無いよう、また施設来場者に不快な印象を与えないよう、施設が常に良好な状態に保たれている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	維持管理委託件数(借上含む)	件	5	5	6	6
	修繕件数	件	6	8	5	2
成果指標	施設維持管理上の重大な不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
事業費 計			3,228	3,918	3,581	2,971
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,228	3,918	3,581

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	安全かつ適正に施設の維持管理を実施できたことにより、重大な不都合やトラブルは発生しなかった。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

リサイクル広場運営事業

[612]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0902	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民利用者	環境事業センター内において年末年始(12月29日~翌年1月3日)を除いて土・日曜日・祝日も含めて毎日開設している。(開設時間は、午前9時~午後4時)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみと食用廃油、白色トレイ・発砲スチロール、小型家電等を分別して、受け入れを行っている。 ・自転車や子ども用品のうち再利用可能なものを受領・展示し、希望者に無料で提供する。 ・リサイクル広場内で、「あげます情報、ください情報」を掲示(市のホームページも併せて情報提供) ・展示コーナーを設け、資源ごみがどのようにリサイクルされているのかわかるポスターやサンプルの展示、DVDの再生による周知を行う。 ・リサイクル広場の業務の一部をシルバー人材センターや障害者団体に委託し、高齢者や障害者の就労支援を行っている。 ・臨時職員(月~金曜日勤務1名)が、リユース品の整理、展示、提供事務を実施
	資源が正しく出されているとともにリサイクル・リユースが促進されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	開設日数	日	359	359	359	359
成果指標	リサイクル広場におけるリサイクル・リユース件数	件	43,425	41,182	32,000	40,347
	リサイクル広場に持ち込まれた資源ごみ量	kg	461,667	455,950	440,000	481,202
事業費 計			11,337	7,240	7,321	7,106
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	11,337	7,240	7,321

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	リサイクル・リユース件数は頭打ちの傾向が見られたものの、指標を大きく上回っている。入場者数も増加傾向にあり、子ども用品を対象としたリユース品引取・提供事業が多く市民に浸透してきていること及びリユース品の自転車も、市民活動課との連携もあり安定して提供できたことが原因である。また、持ち込まれた資源ごみ量も平成28年度実績と比べ25,252kg増加している。地域の収集日で出せなかったものの補完と言える面もあるが、資源ごみの分別指導・啓発が市民に浸透してきていると考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>リサイクルステーションの試行結果を踏まえ、市民にとって利便性のあるリサイクル広場等の運営方法を検討します</p> <p>リユース品の有償化について、引き続き検討します。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>リサイクル広場拡充プロジェクト会議を開催し、リユース品の有償化の検討やヘビーユーザー対策について検討したほか、利用状況の分析、情報発信と啓発のしかた、ごみに関する学習拠点のあり方などを議論した。</p>			

一般廃棄物処理基本計画推進事業

[1218]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0903	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定により、市町村はごみ処理基本計画を定めなければならないこととされている。現行の一般廃棄物処理基本計画は、平成26年度から平成35年度を計画期間としている。計画は3つの基本方針、11の基本施策、44の具体的な取り組みを掲げており、スケジュールにより計画の推進及び進行管理を行っていく。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>【実施方法】 廃棄物減量等推進審議会と循環型社会推進会議により、市民と協働で事業の推進及び進行管理を行う。 庁内グループ会議により、全庁的な情報共有を図るとともに、関係部署の取り組みの進捗状況の確認・調整を行う。</p> <p>基本計画の重点取組の一つ「燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討」のため、循環型社会推進会議が調査研究結果をまとめ、提言書を作成した。</p>
一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物が適正に処理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	市民への情報提供の回数	回	1	1	1	1
成果指標	廃棄物処理に対する取り組み項目数		33	42	44	44
		%				
事業費 計			450	807	4,076	3,964
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		450	807	4,076

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 廃棄物処理に対する取り組み項目数は、昨年度と比べ2項目増加している。</p> <p>(原因) 一般廃棄物処理基本計画に基づき、新たに「商工会等と連携して事業系ごみの処理に関する啓発」、「事業系ごみについて広報やホームページにて情報発信」の検討を開始したため。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0309	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成21年度以降99-0404及び99-0405を合わせて統合再任用職員1名、調査・報告事務、財務会計処理事務等担当 <文書処理> 文書の收受 文書の発送 <職員管理> 臨時職員の雇用・給与等管理・時間外勤務・出張の集計・報告 職員互助会事務 <事業計画・報告> 予算・決算 EMS・行政評価等 <その他の事務処理> 財務会計処理、印刷製本(申請書等) <物品管理> かご等集積所用物品、ごみ収集作業用物品、地域清掃用物品、不法投棄防止物品、リサイクル広場用物品等

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			3,988	4,718	4,054	3,824
指 標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,988	4,718	4,054

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---------------------------------------------------------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

ごみ減量庶務事務

[1166]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0310	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	ごみ減量係の庶務事業 課員	< 文書処理 > ...100時間 文書の收受(60時間) 文書の発送(20時間) 照会・依頼等の調査・報告(20時間) < 事業計画・報告 > ...300時間 予算・決算(100時間) 一般廃棄物処理事業調査(200時間) < 財務会計処理 > ...100時間 < 印刷製本 > ...370時間 ごみ分別関係冊子作成(210時間) ごみ分別チラシ作成(20時間) 事業概要作成(110時間) ホームページ作成(30時間) < 物品管理(啓発物品等) > ...20時間 < 各種会議等に関する庶務事業 > ...50時間 合計 940時間
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

ごみ減量係の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	庶務事務所用時間			940	940	940	
成果指標	庶務事務における重大な手続きミス・不具合件数		0	0	0	0	
	庶務事務における事務改善件数		0	0	1	0	
事業費 計			2,461	2,642	2,084	2,015	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		346	357	500	364
		オ 一般		2,115	2,285	1,584	1,651

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	ごみ減量の問い合わせに適切に対応しているため、重大な手続きミス・不具合は発生していない。
--------	--------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-